

脳卒中科初期臨床研修プログラム(選択科)

研修責任者 本間 一成

研修期間 4 週～

I. 研修目標

一般目標(GIO ;General Instruction Objective)

初期診療の一つとして脳卒中であるか否かを判断し、適切に対応できる（専門医に渡すなど）。また、神経疾患に関して理解する。

行動目標(SBOs ;Structural Behavior Objectives)

1. 指導医とともに脳卒中患者の病歴聴取、神経学的診察、検査を行い、脳卒中患者の診断の要点、診察法、画像診断について学ぶ。
2. 適切な診断の元、正しい治療方針を立てて実行する。

II. 方略

脳卒中科週間スケジュール

月曜日 15 時より脳神経外科との合同カンファレンス・抄読会

火曜日 8 時 15 分より脳神経外科と合同で回診

木曜日 8 時 45 分より多職種共同カンファレンス

*月～金曜日の 9:00～17:00 の外来・救急外来の緊急受診について随時対応する

研修場所：外来、救急外来、病棟、画像診断室、臨床検査室、エコー室

III. 評価

1. カンファレンス、回診では、自分の受け持ち患者についてプレゼンテーションをしてもらう。これに関する質疑応答を繰り返すことで受け持ち患者の病態に関する理解度を評価する。
2. ローテーション終了後の面接にて、知識・技能の学習成果の総合評価を行う。

IV. 他科・他職種との連携

1. 脳梗塞超急性期治療(血栓溶解療法・血栓回収療法)を積極的に行っています。また、脳神経外科と密接に連携を取って治療を行っていますので、脳外科を選択され、この分野に興味を持たれた方も、脳外科研修終了後、引き続いて当科を選択されても良いかと思えます。
2. 脳卒中は、心房細動・心筋梗塞・心不全など循環器疾患に伴い生じることが多くあり、循環器との連携が求められる科です。循環器に興味を持たれている方も、是非研修をご検討ください。
3. 脳卒中に罹患しADLが低下すると、誤嚥性肺炎など様々な合併症を生じることがあります。

聖隷三方原病院 臨床研修プログラム

その際には、当院各科にコンサルトしながら脳卒中以外の治療も並行して行っていきます。また、患者さんの状態にあわせて生活環境の調整を行う必要があり、医療に携わるほぼすべての職種（看護師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、臨床検査技師、管理栄養士、ソーシャルワーカー等々）と連携を取りながら対応していきます。当科の研修では、このように総合的に患者さんを診る姿勢・チーム医療の重要性・地域との連携を学ぶことが出来ます。

4. これらは、急性期だけでなく、慢性期医療（療養型病院、介護保険施設、在宅診療）でも必要な考え方とされますので、将来その方面に進むことを考えている方も当科での研修を選択していただければと思います。